11 月 号令和８年 10 月 30 日発行

荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町694番地
[Tel045-911-0149]
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]

秋の読書週間

副校長　井上　和浩

10 月 25 日（日）のサザエさんでも秋の読書週間が取り上げられていました。タラちゃんが、おじいちゃんに「どうして秋は読書に向いているの。」と聞くと、「涼しくなり、日が暮れるのも早くなって秋の夜長は読書にはうってつけなんだよ。」とやりとりしていました。テレビをご覧になった方もいると思います。波平さんが仕事から帰る途中、人気のケーキ屋さんに列ができているのを見かけ、その列に並びケーキを買って帰るという話でした。なぜ、わざわざ並んだのでしょう。ケーキが食べたかったわけではありません。実は前から読みたい本があったのですが、来客や急な残業などで読書の時間がとれない日々が続いて困っていました。そんな中、長い行列をたまたま目にして、列を待っている間に本を読めばいいのでは！とひらめいたからでした。しかも行列ができるほど評判なケーキを買って帰ったので、家族は大喜びです。サザエさんからは「前から食べたかったの～」と感謝されました。

子どもたちには、波平さんのように工夫して、本に親しむ時間をぜひ作ってほしいと思います。それには、読みたい本がないといけません。

そこで、私からオススメの本を一冊紹介します。高学年向きですが「続　窓ぎわのトットちゃん」（荏田小の図書館にも置いてあります。）です。2023 年に発行されました。トットちゃんのお父さんが戦争に行く場面もありますが、思わず笑ってしまったり、ほのぼのとしたりするトットちゃんの青春記です。少し紹介します。

疎開先に行く途中、青森でのバスの中で、お客さんが「おつる、おつる。」と言って、奥の座席から出てきました。トットちゃんは落ちるのかと思いました。ところが、「おつる」は「降りる」という意味で「バスを降ります。」と言っていたのでした。（本書の 80 ページ。）

図書室には本を紹介してくれる学校司書の島川先生がいます。お勧めの本を聞いたら、自分にバッチリあった本を教えてもらえると思います。ぜひ「相談してみたら？」とお子さんにお声かけしていただけるとありがたいです。



最後になりましたが、荏田の子どもたちの様子です。朝、学校の前の信号で横断旗を振っています。子どもたちは元気にあいさつをしてくれます。ところが信号待ちで大勢になると自分に言われていないと思うのか、そのまま通り過ぎる児童も少なくありません。みんながあいさつをするようになるすごい方法を本から見つけられたら最高ですね。

本校でも 11 月 11 日～25 日まで 図書委員会による「読書フェスティバル」が開催されます。
詳細は「図書館だより 11 月号」（10 月 30 日発行）に載っていますのでご覧ください。